

女性活躍推進企業フォーラム事業【静岡県藤枝市】

地域の実情と課題

- 藤枝市の女性の労働力率・・・52.2%(H22国勢調査)
→静岡県内のほぼ平均的、全国的な平均より若干高い水準
- 「男女共同参画に関する市民意識調査」(H28藤枝市実施)
・・・「女性が働く上での障害」として、①結婚・出産退職等の慣行、
②長時間労働や残業、③育児・介護休暇が取得しにくいこと
の3項目に対する回答率が約半数または半数を超える値
→男性中心型の労働環境慣行が女性活躍の障害となっている

事業の特徴

- 市内および近隣市町の事業所を対象に、女性活躍への理解を深めるためのパネルディスカッションを開催。
- 女性を積極的に活用することで大きな成果を上げている企業としてメディアも取り上げられている事業所の代表者による女性活躍の事例紹介を行い、働き方の意識改革を図ることが企業の経営戦略になることを啓発した。
- 男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組む市内事業所を市が認定、その取組を紹介し制度の周知を図った。

事業の効果

- フォーラム参加企業 43事業所(目標:40事業所)
 - フォーラム参加者の満足度 71.4%(目標:75%)
- セミナー参加者の満足度としては、目標をわずかに下回ってはいるが、参加者のほとんどから、参考になる内容があったもしくは、今後実践したいことがあったとの意見を得ることができたことから、参加者数・内容面のいずれにおいても、一定の成果を上げることができたと評価している。

目的・目標

- 【目的】職業生活における女性活躍のさらなる推進のため、市内事業者等に女性活躍への理解を深めるとともに働き方の意識改革を図る。女性活躍の推進や働きやすい職場環境づくりが、企業の業績向上につながることを参加者が実感し、取組の必要性やその効果の理解につながる。
- 【目標】

・フォーラムへの参加事業所数	40事業所
・フォーラム参加者の満足度	75%以上

連携団体

- 藤枝商工会議所
 - ・フォーラムの共催
 - ・広報、周知の支援
 - ・「女性起業家による女性の活躍推進セミナー」開催
- 静岡県(ふじのくに女性活躍応援会議)
- しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン事業
 - ・フォーラムの共催
 - ・広報、周知の支援

今後の課題

今回のフォーラムは、企業、特に中小の事業所が女性の活躍について考えるための契機であると捉えており、今後それをいかに実践できるかが課題となる。
市としても、これから取組を進めていこうとする事業所の積極的な支援をしていきたい。



しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン事業

女性活躍推進企業フォーラム

○趣旨

「女性活躍」「働き方改革」が叫ばれ、積極的な取組が求められる中、先進的取組を行うトップランナーの参考事例から、藤枝市と周辺市町の事業所が経営戦略として女性活躍を推進しより高い効果を生み出す

○日時 平成30年2月6日(火) 13:30~15:30

○会場 藤枝市生涯学習センター

○主催 藤枝市

○共催 藤枝商工会議所・静岡県・ふじのくに女性活躍応援会議

パネルディスカッション

身近な女性活躍事例から学ぶ！ サバイバル経済の生き残り方とは

【出演者】

- コーディネーター 株式会社ビズホープ 代表取締役 寺田 望 氏
- パネリスト
 - ・株式会社三光ダイカスト工業所 代表取締役 三宅 ゆかり氏
 - ・有限会社串屋 代表取締役 土屋 亜里沙氏
 - ・株式会社日翔工業 ゼネラルマネージャー 小長 井克久氏



【話された内容】

- ・女性経営者としての苦労
- ・男性の多い職場での女性活用方法
- ・女性特有の視点からの職場改善や経営改革
- ・女性の感性を取り入れた販路拡大
- ・性別を超えた「ジェンダーレス」での改革

【参加者の感想・意見】

- ・女性の感性（こまやかな感性）と一方でジェンダーレスを意識した職場づくり、職場風土作りについて参考になった。
- ・男や女の目線の違いについては考えさせられた。
- ・女性の力をもっと活かした職場づくりに取り組んでいきたい。
- ・男性・女性の特性を活かして、起業できたら面白い。 など